

さいたま市立美園南中学校における オンライン型自転車交通安全教室の実施

去る5月25日(火)に、さいたま市立美園南中学校（さいたま市緑区）の2年生（5クラス）を対象として、Zoomを使った双方向通信によるオンライン型自転車交通安全教室（50分）を実施しました（主催：（一財）日本交通安全教育普及協会 後援：文部科学省 協力：さいたま市立美園南中学校）。

講師は当協会が務め、東京から配信する映像・音声を生徒が各教室で視聴することで学習しました。

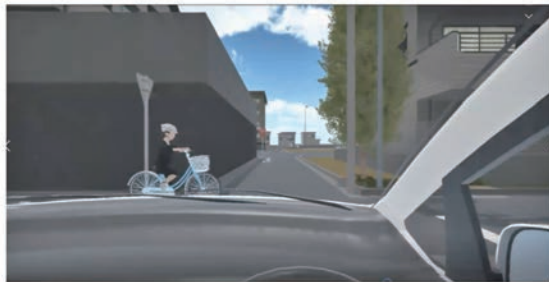
このオンライン型交通安全教室では、生徒は通常の授業と同様に各教室で受講することができるため、感染のリスクを減らしながら効果的に受講できます。また、文部科学省のGIGAスクール構想実現を目指し配布された1人1台のタブレットを活用し、さいたま市が導入した協働学習支援ツールである教育用アプリケーションを使って、安全行動の意思決定に向けて生徒が主体的な学びを行うオンライン双方向学習の1つのモデルとなることも期待されます。

学習内容

- 座学：埼玉県内の事故事例を交えて自転車の事故状況を知り、事故を起こした場合の責任について紹介して主体的に行動する自覚を持たせる。また自転車の基本的な交通法規についてスライドを使用し学習する。
- 危険予測学習：CGによる事故再現映像を視聴し考える。
1. 自転車視点、運転者視点で考える。
 2. どうしたら事故回避できるかを考える。
- 交通場面観察：動画による見通しの悪い交差点において、自転車が通行する場면을視聴し考える。
1. どのような危険（違反）があったか、原因はなんであったか、一時停止しない人が多いのはなぜかを考える。
 2. 安全行動のために必要なことを考える。
- まとめ：1. 交通事故に遭ったときの対応
2. 自転車保険加入、加害者の高額賠償についての説明

1. 危険予測学習

(2) 相手はこの事故を回避することができたでしょうか？
理由も考えましょう（運転手になったつもりで予想）



危険予測学習では、一時不停止の危険、運転者は回避困難であることを学び、法規上の優先関係、正しい通行方法を学びました。

交通場面観察では、自転車事故で出会い頭事故が多発していること、その原因を考え、自身の行動変容、安全行動につなげることを学びました。

2. 交通場面観察

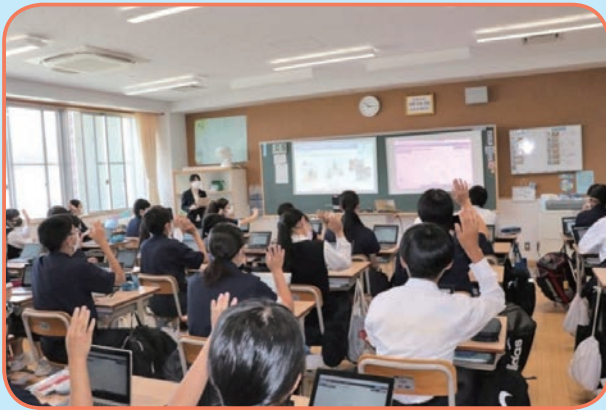
どのような交通違反があったか、確認してみましょう





安全教室が始まる前に美園南中学校の教員と普及協会の職員が協力して、映写準備を行いました。

自転車交通安全教室の様子



講師の問いかけに、挙手で答えました。



講師の問いかけに、個人で考えて、タブレット端末に入力しました。



個人で考えた後は、小グループになり、みんなで意見を交わしました。



小グループでまとめた内容を代表者が発表し、みんなで共有しました。

行動目標の設定

(4)また、100点満点にするにはどうしたらよいでしょうか
(自分の行動目標として 自分ができるところを考えよう)

安全確認のために必要なこと

私の「行動目標」

2021年 5月 25日

➤ 自他の安全を守るために、自分ができるところ

学習した内容を踏まえて、安全行動に必要な「私の「行動目標」」を書き込みました。



井澤講師と2クラスの生徒たち。生徒は熱心に交通安全を学びました。